

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
滝沢市	滝沢市	平成 27 年度～令和 3 年度	平成 27 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目標※2
排出量	事業系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	生活系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 ( %)	kg/人 ( %)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t ( %)	t ( %)	%
再生利用量	直接資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
	総資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成26年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目標※3
総人口		55,058 人	55,208 人	55,400 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	34,250 人	37,130 人	38,732 人	—
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	62.2%	67.3%	69.9%	151.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	934 人	0 人	0 人	—
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	9,129 人	9,630 人	9,843 人	—
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	16.6%	17.4%	17.8%	150.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	10,745 人	8,448 人	6,825 人	

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績								
発生抑制、再使用の推進に関するもの														
処理体制の構築、変更に関するもの														
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備事業	滝沢市	公共下水道事業区域を除く区域や下水道の整備が当分の間見込まれない下水道計画区域内（事業区域外）の住宅等を対象として、浄化槽の設置費用を助成する。	平成 27 年度 ～ 令和 3 年度	<table border="0"> <tr> <td>総事業費</td> <td>123,235 千円</td> </tr> <tr> <td>総交付基本額</td> <td>123,235 千円</td> </tr> <tr> <td>総交付額</td> <td>41,076 千円</td> </tr> <tr> <td>交付対象基数</td> <td>314 基</td> </tr> </table>	総事業費	123,235 千円	総交付基本額	123,235 千円	総交付額	41,076 千円	交付対象基数	314 基
総事業費	123,235 千円													
総交付基本額	123,235 千円													
総交付額	41,076 千円													
交付対象基数	314 基													
施設整備に係る計画支援に関するもの														
その他														

### 3 目標の達成状況に関する評価

当初計画の目標は、令和3年度までに交付対象基数320基、処理人口9,630人としており、それに対し平成27年度から令和3年度までの実績は、交付対象基数314基、処理人口9,843人と概ね計画どおり整備できたため、目標は達成された。

目標が達成できた要因として、市広報誌や市ホームページによる補助金制度の紹介、環境にやさしい浄化槽の啓発などを行ったことにより、計画どおり合併処理浄化槽を整備できたことが挙げられる。

今後も循環型社会形成推進交付金を活用した、公共下水道区域外の住民を対象に、汲取り便所から合併処理浄化槽への転換を推奨し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向け、引き続き浄化槽設置整備事業を進めることとしたい。

#### (都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽の普及実績について、未処理人口の大幅な減により目標値を上回っていることから、本計画による施策が浄化槽の普及促進に大きく寄与したことが認められる。

滝沢市では、既に新規計画（令和4年度～令和8年度）を策定したところであり、今後も引き続き循環型社会形成推進交付金等を活用しながら浄化槽の更なる普及促進に努められたい。

県においても、その手法等について必要に応じて支援していくこととしたい。